

平成 25 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 2	日本語試験

以下のすべての設問に解答しなさい。

問題 1 以下の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

問 1 下線部 (1) (2) (3) (4) を漢字の読み方を書きなさい。

問 2 下線部 (5) (6) (7) (8) を漢字に直しなさい。

問 3 筆者は、20 世紀前半までの日本社会のあり方はどのようなであったと述べているか説明しなさい。

問 4 筆者が述べる現代の日本社会が抱える問題は何か、説明しなさい。

問 5 筆者は、日本語や日本語の教育のあり方についてどのように考えているのか説明しなさい。

注 1 : 「以下の文章」とは、水谷修著 2009 『移民時代の言語教育』ココ出版、4 頁~6 頁である。

問題2 以下の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

問1 下線部1.「足をすくわれて」と、下線部2.「テキパキと」の意味を日本語で説明しなさい。

問2 下線部 a.~c.のカタカナを漢字で書きなさい。また、下線部 A,B の漢字をひらがなで書きなさい。

問3 下線部3.「医者は問題検討を経て（つまり考えて）看護師に返答するが、看護師は医者から言われたことを患者に伝達するだけで問題検討しないから」といった単純な考えでは説明できません。
について、なぜそのような考えでは説明ができないのか、具体的に詳しく説明しなさい。

問4 (ア) (イ) にはそれぞれ日本語の品詞名が入ります。それぞれ何か、答えなさい。

問5 この文章は、「コミュニケーションとは情報の伝え合いである」という、一見もってもらしい考え（情報伝達的なコミュニケーション a.カン）が実は正しいとは限らないということを示す目的で書かれている。このような考え方は、どのような点で「正しいとは限らない」のか。本文に即して解説しなさい。

注2:「以下の文章」とは、定延利之著 2011「音声コミュニケーション」『はじめて学ぶ日本語学』180頁～181頁である。

問題3 以下の文章を読んで、あとの問に答えなさい。なお、文章中の例文に付けられている「*」の記号はその文が日本語として不適格であることを表し、「?」の記号はその文が日本語として不自然であることを表します。

問1 空欄ア～オに入る言葉を次の中から選びなさい。一つの言葉は一箇所にしか入らないものとしします。

すなわち 一方 この場合 このうち それでは

問2 空欄 A～D に入る言葉を次の中から選びなさい。一つの言葉は一箇所にしか入らないものとしします。

わけ こと の 次第

問3 この文章の主張は、下線部の「認識論的な見方が適切ではない」ということにある。筆者は、この主張の根拠をどのように述べているか。分かりやすく説明しなさい。

問4 波線部の「このような制限を持たない言語は珍しくない」ということも、「認識論的な見方が適切ではない」という主張の根拠になりうる。それはなぜかを説明しなさい。

注3: 「以下の文章」とは、益岡隆志著 2000『日本語文法の諸相』くろしお出版、1頁～3頁である。